

OS交配

●ハウス●2月～9月定植 ●半促成・無加温・雨よけ・抑制・晩抑

キュウリ



まりん

S-32

●ウドンコ病・褐斑病・べト病に極めて強い ●秀品超多収

複合耐病性

- 節成り性高い
- 2果成り多い
- 初期収量超多収



株式会社 埼玉原種育成会



OS
交配

まりん (S-32)

特性と栽培のポイント

特性

- ★ 褐斑病・ウドンコ病に強い耐性を示し、べと病にも強い。
- ★ 節成性が高く、分枝性は程良い。
- ★ 終始、果形が安定し、肥大性が良い。
- ★ 高品質で、秀品率が特に高く、食味良好。

適作型	ハウス:2月~9月定植 半促成・無加温・雨よけ・抑制・晩抑
主枝雌花率	2月~5月定植で100%近い 6月~9月定植で60~70%前後 2果成り多い
草姿・草勢	主枝:太さ中位で中節間。側枝:中節間で発生は良い。 孫枝:側枝の収穫が始まってからは、短~中節間の枝がゆつくりと発生。 葉:やや大きめ 葉色はやや濃くしっかりとした生育で徒長しにくい。
果実	100g果で21~22cm。濃緑色で、光沢は極良い。首から尻まで良く整った円筒形で果揃いがとても良い。食味・食感良く、店持ち性も良い。
収量	主枝雌花着生の多さと実の肥大の良さから、初期収量多い。 枝は程良く発生し、草勢バランスが終始安定し、秀品多収となる。
耐病性	病気の発生は全般に少なく、特に褐斑病・ウドンコ病に強い耐性をもち、べと病にも比較的強い。

栽培のポイント

初期から多収穫となるため収穫開始までのしっかりとした樹作りが大切
下位からの雌花着生が多い。草勢不十分の場合、思い切った摘果も必要
特性を活かすために積極的な肥培管理をする。

- ブルームレス台木は、OS交配ゆうゆう一輝黒タイプ、オールスター一輝、FGY、RK-3が適する。
- ブルーム台木は、ウルトラ南瓜、ウルトラ9B南瓜が適する。

- 定植から活着、伸び盛り、収穫始まるまでは基本的な肥培管理で、徒長させずに旺盛な生育を図る。

※主枝摘芯は低めに行う。

※樹作りの為に膝付近までの雌花の摘除。

※雌花が多いため、初期から節数多くとる親子2~3本仕立てのような枝の誘引はしない方が良い。

※側枝・孫枝ともにオーソドックスに1~2節止めで対応する。
ひ孫枝以降は半放任とする。

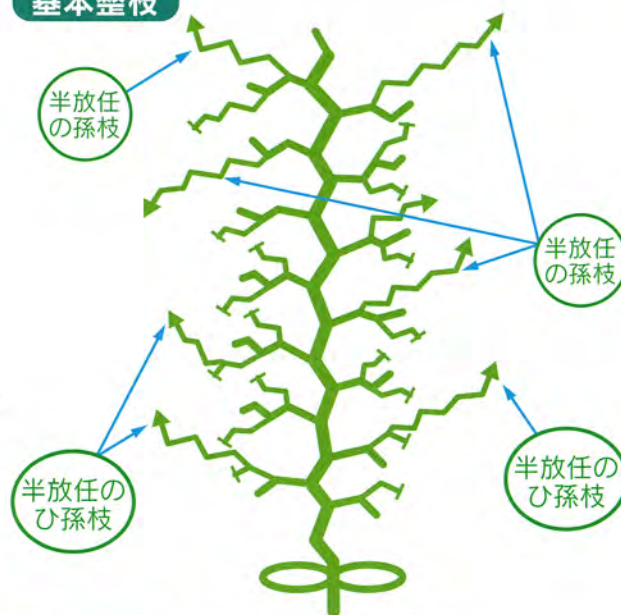
- 収穫最盛期を迎える頃から機械的な摘芯は控え、中~上段の孫枝及びひ孫枝を活かす整枝を心掛ける。

- 収穫が進むにつれて、株の立体作りを意識した整枝に努めることにより、中後半まで多収穫が維持できる。

- こまめに水分を与えながら果実肥大を促し、草勢低下をさせないようにする。

仕立て方の例

基本整枝



側枝と下~中段の孫枝を1~2節止め、
上段の孫枝とひ孫枝以降は半放任とする。



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元
株式会社 埼玉原種育成会
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元
株式会社シード

〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407